au by KDDI

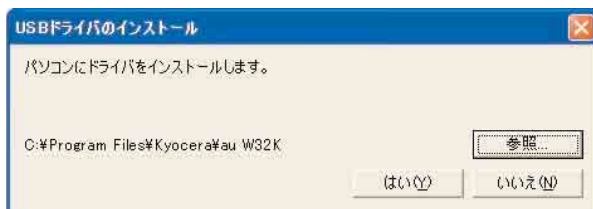
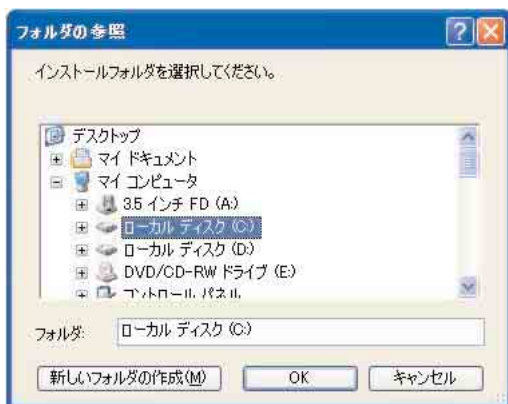
W32K　USBドライバ
インストールマニュアル

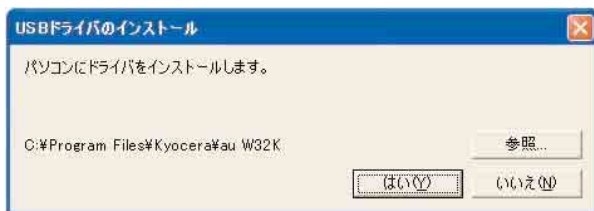
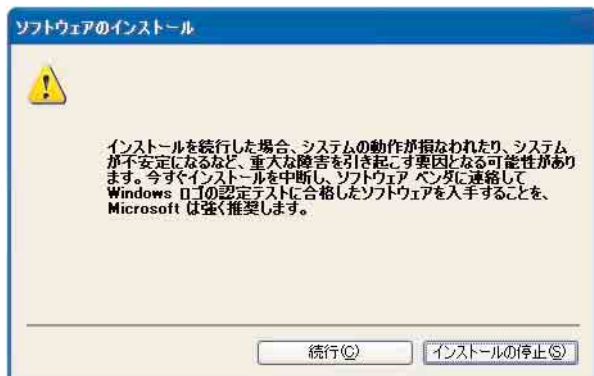
- 本製品の使用環境は以下のとおりです。
  USB1.1以上に準拠しているUSB搭載のパソコンで、Microsoft® Windows® 2000 Professional／Windows XP がプリインストールされているDOS/V互換機（アップグレードからは保証しません）。
- 本製品は日本国外ではご利用になれません。（This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- 本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。
- 本書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

■USBドライバインストール時の手順

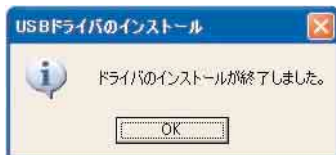
※ 以降の画面はWindows XPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。
※ Windows 2000についても、同様の操作でパソコンにUSBドライバをインストールすることができます。
※ **インストール完了するまでW32Kをパソコンに接続しないでください。**

■ USBドライバの「インストール開始」をクリックし、ファイルのダウンロード画面で［保存］をクリックし、圧縮ファイルをデスクトップなどに保存してください。圧縮ファイルを解凍すると「w32k_driver」フォルダが表示されます。

1. 「w32k_driver」フォルダ内の“Setup.exe”をダブルクリックしてください。“USBドライバのインストール”画面が表示されます。

インストールフォルダ（C：¥Program Files¥Kyocera¥au W32K）を変更する場合は［参照...］をクリックしてください。フォルダを指定後、[OK]をクリックします。

2. “USBドライバのインストール”画面で［はい（Y）］をクリックします。

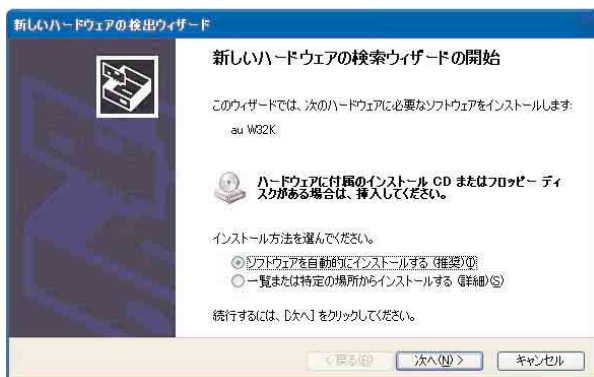
ドライバのインストールが始まります。

Windows XPパソコンの場合のみ、右の“ソフトウェアのインストール”画面が3回繰り返して表示される場合があります。3回とも必ず［続行（C）］をクリックしてください。

3. 右の画面が表示されましたら、USBドライバのインストールが完了です。

［OK］をクリックしてください。

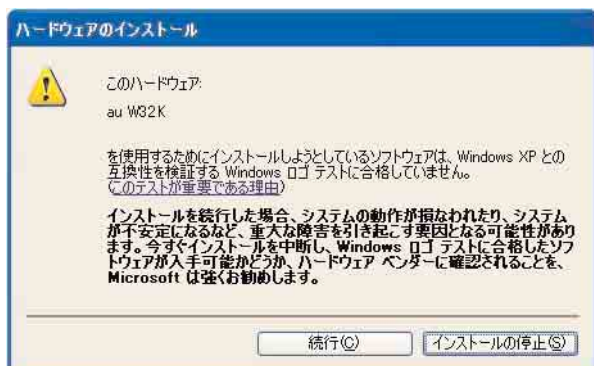
ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください（「インストール結果を確認する」7ページ）。

4. USBドライバのインストールが完了しましたら、W32Kをパソコンに接続します（必ず手順***3***が完了してから接続してください）。

はじめにUSBケーブルWIN「0201HVA」（別売）をパソコンに接続してください。続いてW32Kの電源を入れ、待受画面が表示されたあと、USBケーブルWIN「0201HVA」（別売）をW32Kに接続してください。

※ 以下の手順***5***〜手順***8***の画面は、Windows XPパソコンの場合は3回繰り返して表示される場合があります。表示された場合は、手順通りに操作を行ってください。

5. 右の画面が表示されますので、［次へ（N)］をクリックしてください。

6. 検索中の画面が表示され、自動的にハードウェアの検出が行われます。

しばらくお待ちください。

7. Windows XPパソコンの場合のみ、右の"ハードウェアのインストール"画面が表示されます。<u>必ず［続行(C)］</u>をクリックしてください。

8. 右の画面が表示されましたら、USBドライバのインストールが完了です。

［完了］をクリックしてください。

ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください。

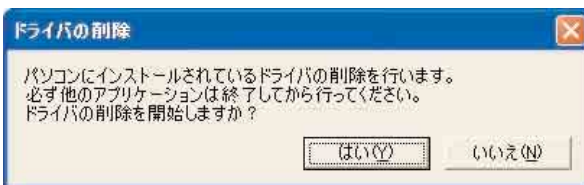
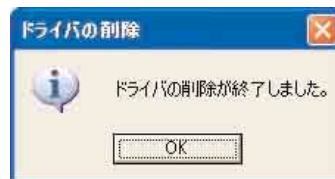
■USBドライバ削除時の手順

※ 以降の画面はWindows XPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。
※ Windows 2000についても、同様の操作でパソコンからUSBドライバを削除することができます。
・アンインストール後は必ずOSの再起動を行ってください。（再起動を行わないと次回インストールができません）

1. 解凍後のフォルダまたはインストールフォルダ（「USBドライバインストール時の手順」2ページ）に“W32KUninstall.exe”があることを確認します。

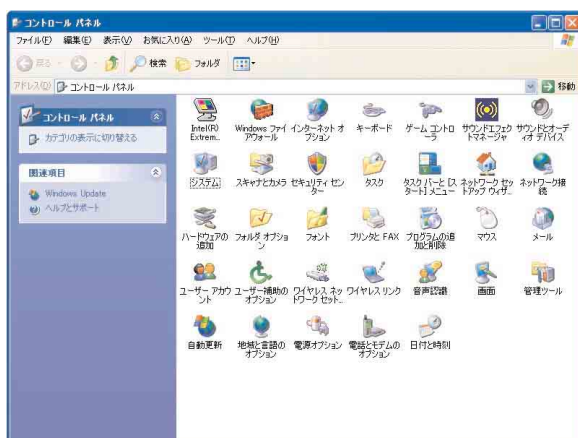
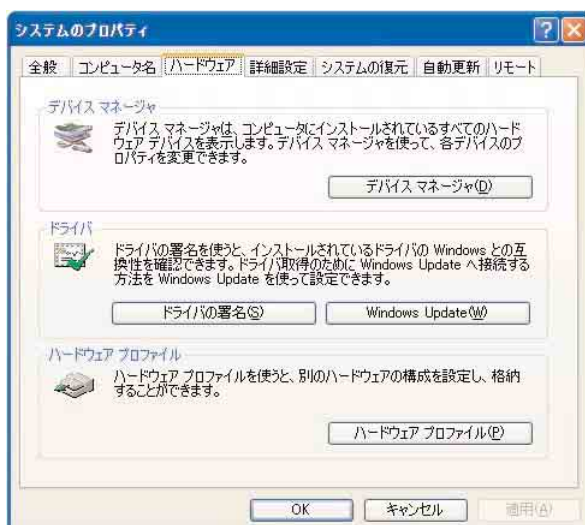
“W32KUninstall.exe”をダブルクリックしてください。“USBドライバ”の削除が開始されます。

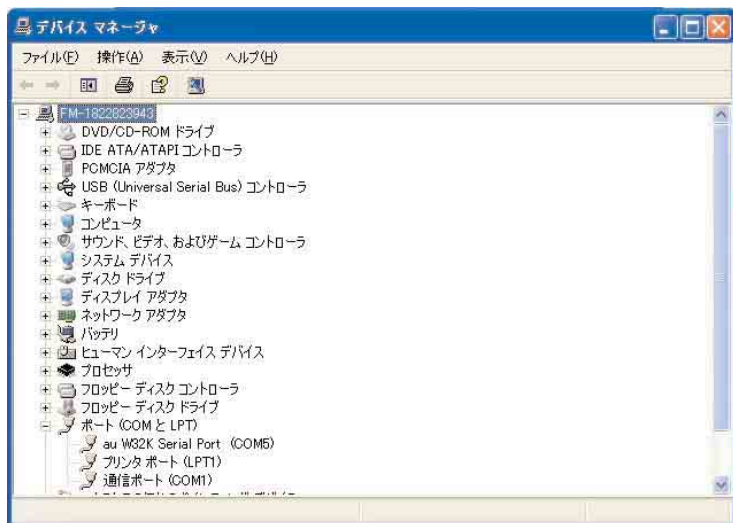
または、コントロールパネルを開いた一覧から“プログラムの追加と削除”をダブルクリックしてください。“au W32K Software”を選択し、［変更と削除］をクリックすることで、“USBドライバ”の削除が開始されます。

2. 右の画面が表示されますので、［はい（Y）］をクリックします。

3. 右の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

■インストール結果を確認する

※ 以降の画面はWindows XPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。
※ Windows 2000についても、同様の操作でパソコンがW32Kを正常に認識しているかを確認することができます。

1. コントロールパネルを開いてください。

コントロールパネルの一覧から“システム”を選択し、ダブルクリックしてください。

2. “ハードウェア”タブにある[デバイスマネージャ(D)]をクリックしてください。

3. インストール後、デバイスマネージャ上にて以下のように認識・表示されていれば、インストールは正常に行われています。

- “USB（Universal Serial Bus）コントローラ”を展開して“au W32K”が表示される。
- “ポート（COMとLPT）”を展開して“au W32K Serial Port”が表示される。
- “モデム”を展開して“au W32K”が表示される。

※本画面は一例であり、画面の詳細はパソコン環境によって異なります。ご了承ください。

※本画面中のCOMポート番号は一例であり、パソコン環境によって異なります。また、W32Kを接続するUSBポート毎にCOMポート番号が変わります。ご了承ください。

■コマンドリファレンス

●ATコマンド

ATコマンドは、“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は“OK”を返します。
なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

/	再実行
書式	A/<CR>
解説	直前のATコマンドをもう一度実行します。

D	オリジネートモードへの移行
書式	ATD [ダイヤルナンバー] <CR>
解説	ダイヤル発信します。

A	アンサーモードへの移行
書式	ATA<CR>
解説	着信応答します。

H	オフライン状態へ移行
書式	ATH<CR>
解説	オンラインコマンド状態から回線を切断し、オフライン状態へ移行します。

O（ｵｰ）	オンライン状態へ移行
書式	ATO<CR>
解説	オンラインコマンド状態から、オンライン状態へ移行します。

+++	オンラインコマンドモードへ移行
書式	+++<CR>
解説	オンライン状態から、オンラインコマンド状態へ移行します。

In	アイデンティフィケーション
書式	ATIn<CR>
解説	パラメータに従って要求内容をパソコンに通知します。 n=0：“OK”を返す n=1：製品名（W32K） n=2：対象電話機（CDMA 1X WIN） n=3：製造メーカー名（KYOCERA） n=4：型式（表示なし） n=5：製品バージョン表示 n=6：電話番号表示 n=7：“OK”を返す

Qn	リザルトコード設定
書式	ATQn<CR>
解説	リザルトコードをパソコンへ返すかどうか設定します。 n=0：リザルトコード送出あり（デフォルト） n=1：リザルトコード送出なし

Sr?	Sレジスタの内容表示
書式	ATSr?<CR>
解説	[r]で指定したSレジスタの内容をパソコンへ返します。

En	コマンドエコー
書式	ATEn<CR>
解説	パソコンに対してコマンドキャラクタをエコーバックするかどうかを設定します。 n=0：コマンドエコーしない n=1：コマンドエコーする（デフォルト）

&Dn	DTR 制御
書式	AT&Dn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。
解説	DTR （データ端末レディ）信号の動作を制御します。 n=0：常にDTRを無視する n=1：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになるとオンラインコマンド状態へ移行する n=2：オンライン状態でDTR信号がONからOFFになると回線を切断し、オフラインコマンド状態へ移行する（デフォルト）

&Cn	DCD 制御
書式	AT&Cn<CR> ご注意：デフォルト値でご使用ください。
解説	DCD（受信キャリア検出）信号の動作を制御します。DCD信号とは、相手からのキャリアを受信しているかどうかをパソコンへ知らせる信号です。 n=0：常にDCDをON n=1：パケット通信がアクティブのときのみON（デフォルト）

Vn	リザルトコード設定
書式	ATVn<CR>
解説	パソコンへのリザルトコードを数字（短い形式）で返すか文字（長い形式）で返すかを設定します。 n=0：数字 n=1：文字（デフォルト）

&F	default 値（工場出荷時設定値）の呼出
書式	AT&F<CR>
解説	各種ATコマンドのパラメーター値をデフォルト値（工場出荷設定値）に戻します。

●Sレジスタ

Sレジスタは、通信用端末として使用するための各種設定を行います。

レジスタ	内容	単位	値
S0	自動着信回数	回	0
S3	CRキャラクタコードの設定	ー	13
S4	LFキャラクタコードの設定	ー	10
S5	BSキャラクタコードの設定	ー	8
S6	ダイヤル開始までの待ち時間の設定	秒	2
S7	キャリア検出許容時間	秒	50
S8	ダイヤルコマンドのポーズ時間	秒	2
S9	キャリア確定許容時間	1/10秒	6
S10	キャリア損失許容時間	1/10秒	14

●リザルトコード一覧

本製品がモデムとして動作する場合、パソコンなどからのATコマンドに応答し、リザルトコードの形でパソコンに信号を送り、回線での動作状態を通知します。

使用できるリザルトコードには2つの形式があります。文字形式で長く詳しい応答と、数字形式で短い応答です。文字形式のコードは<CR><LF>で始まり、<CR><LF>で終了します。数字形式には先行するシーケンスはなく<CR>で終了します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドライン実行確認のため、[OK]コードを送ります。
1	CONNECT	オンラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
2	RING	着信中です。
3	NO CARRIER	オフラインモード状態に遷移した場合、このリザルトコードを送ります。
4	ERROR	コマンドライン構文エラー、実行不可能およびコマンドが存在しない場合、またパラメータ許可範囲内外の場合に、このリザルトコードを送ります。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンを検出できません。
7	BUSY	接続相手が話し中です。
29	DELAYED	通信が規制中の場合、このリザルトコードを送ります。